

四谷美談

2016

序

劇場中央に舞台。それを取り囲むように観客席。
舞台から2本の花道が伸びており、その先にも小さな舞台がある。

花道から6名の男女が黒子の頭巾を被り（顔は見えている）やつてくる。
各自の生活の場で、食事をしたりはじめめる。一人は寝始める。
やがて頭巾の布を顔の前に垂らし、スマートフォンを取り出し、各自操作し始める。

やがて、ネット上でのつぶやき・会話が始まる。

今日は朝からとてつもなく寒いです。冬だから寒いのは当たり前だけど、それにしても寒過ぎです。というわけで本日はみそラーメンを食べました。体ぽかぽかです。
昼めし食い過ぎた。あの店、とんかつデカすぎ。頬んでないのにごはん大盛り。眠くなつてきた。午後ヤバい。

いい加減、コンビニ弁当飽きた。体壊しそう。明日からはせめてサラダ付にしよう。

今日のお昼はカレーうどん。案の定、跳ねました。午後から外回りなのに……。

昼飯、うまい棒。サラミ味。

外出したら、眠気吹っ飛んだ。サミい。

店から出たら突然のドシャ降り！ 傘持つてきてないのに！ 今日、とことんついてな

西日本で豪雨とか言つてる。こつちは雪降りそうだつてんのに。

札幌は今日も雪です。今年は少なめでお願いします。

続いてうまい棒。チーズ味。

ひとまず雨宿り中。

とか言つてたら、雪降つてきた。

札幌は今日も雪です。今年は少なめでお願いします。大事なことなので2回言いました。

結構降つてきた。

全然止む気配なし。

速報！ 都内で大雪。これから夜にかけて5センチほど積もる恐れ。

えー、電車止まるよ。帰れなくなるよ。

5センチとかなめんな！ 北海道なめんな！

東北なめんな！

うまい棒。メンタイ味。

ひとまずコンビニに突撃！

東京人はちよつと雪積もつただけでなんで転ぶの？ 冬靴はかないの？

5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 東京人はちよつと雪積もつただけでなんで転ぶの？ 冬靴はかないの？

デザート！ 白いブラックサンダー。……。うまかった。昼飯終了。

変に熱くなつてしましました。

すごい数リツイートされました。

傘売り切れ……。

さて、そろそろ作業再開します。

速報！ 歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。

短い沈黙。

B A

G C D B A E B D E A B A D E B A C G D C A C D E A C i D B E D C B A

(声)

(声)

え？
何それ。ドラマ？ なわけないか。

四谷美談

2016

与茂七

与茂七

待
て
！

音楽。伊右衛門は刀を抜く。
与茂七は逃げ去り、伊右衛門はそれを追いかけていく。

声

ていうか、なんの容疑？

どうしたこと？ なんでこの人指名手配されてんの？

画像検索したら分かつた！

でも速報で流れるってことは、
クスリか。
（ふふふ）

何かやりそうだ

こいつの人生終わつたな。ざまあ。
今起きて。おはようござい、玉一。

速報詳細 新宿凶四谷のマンションで女性の遺体を発見
（一）次舞支非裏、民谷申石商用を看守手配。見兵、消息不明。
警視庁は遺体棄棄の重要参考人

リツイート!
速報詳細 蕁宿四谷のマンションで

リツイード！ 遺体遺棄の重要参考人として、歌舞伎俳優民谷伊古衛門を指名手記。現在、消息不明。

消息不明って言うのは、つまら逃げ中ひでこと?

重要参考人って言つてゐるけど、ほゞ犯人つてこと

女性の遺体って……誰？

続報、女性の遺体は、民谷祝さんと判明

殺人……？

これは前代未

逃げて高飛びか?

速報続報！

花道を通つて佐藤与茂七が必死の形相で駆け込んで来る。それを追つて、日本刀を持った民谷伊右衛門が歩いてくる。与茂七、振り向きざまに伊右衛門の姿を目にして、強く叫ぶ。

しかし、伊右衛門は歩みを止めず、与茂七へと近づいて行く。やがて舞台に到達した伊右衛門は立ち止まり、刀の柄に手をかける。

A～EはBを着替えさせて去っていく。Bは伊藤喜依となる。

二段目

とあるシティホテルのロビー。

黒ドレス姿の喜依が一人立つており、スマホをいじっている。

あ、こっちのイルカの方がいいかも……よしと。

ダークスース姿の槙が携帯電話で話しながらやつてくる。

(怒つている様子)だからそれで? 向こうは何て言つて来たの? ……バカ言つてんじやないわよ! 今回のお騒動で損失被つてるのは明らかにこっちなんだから! ……うちが大手のプロダクションじやないからってなめてんのよ。まあ、そんな男に捕まるあの子もどうかしてるけど。

槙。

(電話を外し) はい?

(外を見て) まだみたいです。

あ、そう。

(再び電話に) もしもし、これから社長と事務所戻るから。詳しくはそれから (電話を切

り) 何の話?

いえ、社長のお耳に入れるほどのことでは……。

(溜息をつき) あの子の不倫騒動のこと?

あ、ええ……。

くだらない! そんな話題追つかけてるくらいだつたら、こっちに来なさいよ。

……それにしても今日は、寂しい会でしたね。

そうね。出席者、一〇〇人も

いなかつたでしよう。マスコミも入つてないし。

……まあ、ひつそりとやりたかったんでしようけど。

どうしてつて……亡くなり方がアレでしたから。

忘れちゃつたわ。どうして亡くなつたんだつけ?

つまり、自ら……。

ああ、そうでした。

……それに、後継ぎもバツとしませんしね。

え?

伊右衛門さん。

ああ……目がもう少しパツチリした方がね

いや、顔の話ではなく、

(独り言) ……あ、これも……よしと。

……社長、

ん?

さっきから何やってるんですか?

買い物つて?

絵画。

絵画……またですか!? またイルカの絵ですか!?

ピンポン。ほら。(スマホを槙に見せる) 満月をバツグンにイルカが跳ねてるの。

もう何枚も事務所に飾つてありますよ、クリスマス・ラッセン!?

ていうか、先週も

買つたでしよう、同じの!

違うわよ、こないだのはシャチ!

そうですか……最近はネットでも買えるんですね?

うん、アマゾンとかニッセンとか。

ニッセンでラッセンの絵、買えるんですか!?

紬 与茂七

四谷美談 2016

女形も良かったけど……九代目左門の当たり役といえば、やはりこれだな。（写真を指す）

これが。で、切腹するんでしょ。

仮名手本忠臣蔵・三段目、刃傷の場。

（いわゆる「殿中でござる」ってシーンだよ。

それが。で、切腹するんでしょ。

あー、デンチュウ……。刀で切りつけてるところだ。浅野……忠信が。

（呆れ気味に） 浅野内匠頭。

浅野……たかみな

内匠頭。

内匠頭。

塩治判官高定

正確に言えば、歌舞伎では「塩治判官高定」って役名になるんだけどな。

（えんやほんがんたかさだ）

（なんで？）

（説明すると長くなるんだけど、）

（じやあいい。忘れる。）

（忘れる。）

そこへ従業員に案内され、宅悦がやつてくる。

（こちらです。）

（すみません、ありがとうございます。）

（ん？）

（どなたかいらっしゃいますか？）

（ええ……お二人だけ。）

（誰？）

（えーと、）

（按摩……？）

（あ？）

（確かに、九代目のお付の按摩じゃあ……？）

（その声は……あの、与茂七様でいらっしゃいますか？）

（そうです。佐藤与茂七です。）

（おお、やっぱり。按摩の宅悦でござります。）

（ああ、宅悦さんか。）

（どうもしばらくでございました。）

（こちらこそしばらくで。）

（いつもテレビや映画で拝聴しております。大したご活躍で。）

（とんでもない。）

（従業員、立ち去る。）

（ところで、こちらの方は？（紬を指し））

（あやぶきさん……どういった字を。）

（あやぶきさんと申します。）

（「彩り」に「笛を吹く」の「吹き」に、お着物の「紬」と書きます。）

（はー、タカラジエンヌみたいなお名前ですか。）

（ええ、元・宝塚です。）

（あー、本当に芸名ですか。）

（何組だけ？）

（花組です。）

（男役ですか？）

（ええ。）

（背、高いですもんねえ。）

（ええ、まあ……。あの、見てるんですか？）

（いえ、（サングラスをずらし）見えませんが。声の飛んでくる角度で大体分かるんです。）

四谷美談

2016

四谷美談

2016

宅悦
与茂七
直助

。直助、行こう。

与茂七、直助は去る。
宅悦はその与茂七達の退場に合わせ、白杖で拍子を打つ。

黒スーツ姿の伊右衛門が花道より現れ、入れ違うように宅悦が去つて行く。

三國志

伊右衛門の自宅の一室。

伊右衛門はトアを開けて、部屋に入る

少し後から黒アーヴ姿の棺が下りてくる

……ん。

んん。 飯みさつが、

卷之三

卷之三

……。(梅の方を向く)

梅、伊右衛門

……今日、来られた皆さんに聞かれました。

一年経つて、「左門」襲名はどうされるのか、と

まだ？

でも……皆さん早い襲名を期待されていましたようですが。

そんなこと、

あの

所詮、婿養子つてことだ……。

花道に、ふらふらと祝が現れる。顔の右半分を包帯で隠している。

（少し苛ついてゐる風に）「伊右衛門」どう名前ゆえに侮られるつてこともあるんじやないですか？

あなたが
「民谷左門

襲名するへきてす
海。

はい

十六

祝が部屋に入つてくる。

祝

おかえりなさい。

伊右衛門と梅、祝を見る。

……ただいま。

着替え中？

はい……。

ごめんなさい。私の仕事なのに。

いいですよ、これくらい。マネージャーの仕事です。

今日は調子いいようなので。

そうか。

一周忌の方は、どうでした？

滯りなく。

みなさん、来てくれました？

もちろん。

どれくらい？

ざつと……二〇〇人くらいは。
あ、そう。そんなもの……。梅さん、あとで名簿を下さい。

名簿ですか？

顔を出せなかつた分、せめてお札状くらいは私が書きます。

あ、いえ、大丈夫です。それも私の方で。

(語気を強め) そういうわけには行きません。まがりなりにも、民谷左門の娘ですから。

……あの……。(伊右衛門をチラッと見る)

……あの……。

分担してくれ。梅と半分ずつでいい。

だから、そういうわけには、

少しほそういう仕事も覚えさせたい。

あ、はい。お願ひします。

……分かりました。

じゃあ梅、明日名簿を持ってきてくれ。

はい……。

梅、脱がせた衣服を持って部屋を出でていこうとする。

伊右衛門、座る。

で……肝心の人は来てたの？

ん？

来てたの？

……。

え、誰の話ですか？

だから、九代目を殺した犯人の話。

……え？

来てたんでしょう？

ねえ？

父は殺されたの、何者かに。ホームに突き落とされて。

梅さん、何言つてるんですか？

自殺に見せかけて！

じやあ、誰が殺したっていうんですか？

(伊右衛門を指し) それは、その人が知つてる。

四谷美談

2016

伊右衛門
梅

え?
伊右衛門を見る